

平成23年3月期 第2四半期決算説明会

平成22年11月25日

フランスベッドホールディングス株式会社



FRANCEBED HOLDINGS

証券コード:7840

<http://www.francebed-hd.co.jp/>

平成23年3月期第2四半期決算の概況と通期の見通し

各セグメントごとの通期の見通しと下期の取組み

1. メディカルサービス事業

2. インテリア健康事業

3. 法人施設事業

今後の主な取組みについて

平成23年3月期第2四半期決算の概況 と通期の見通し

第2四半期連結業績概要

(百万円)

	平成22年3月期 第2四半期 (H21.4~H21.9)		平成23年3月期第2四半期 (H22.4~H22.9)					
	実績	構成比	当初 計画	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率	当初計画 達成率
売上高	24,903	100.0%	25,000	100.0%	23,829	100.0%	△4.3%	95.3%
営業利益	425	1.7%	640	2.5%	311	1.3%	△26.7%	48.5%
経常利益	365	1.4%	540	2.1%	271	1.1%	△25.7%	50.1%
四半期 純利益	198	0.7%	240	0.9%	126	0.5%	△36.4%	52.5%

■ 1株当たり四半期純利益 0円55銭

第2四半期セグメント別業績概況

(百万円)

		平成22年3月期 第2四半期		平成23年3月期第2四半期					
		実績 (推計値)	構成比	当初計画	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率	当初計画 達成率
メディカルサービス 事業	売上高	10,132	40.6%	10,700	42.8%	10,512	44.1%	3.7%	98.2%
	営業利益	960	—	770	—	754	—	△21.4%	97.9%
インテリア健康 事業	売上高	9,304	37.3%	9,000	36.0%	8,165	34.2%	△12.2%	90.7%
	営業利益	△612	—	△270	—	△471	—	—	—
法人施設 事業	売上高	3,125	12.5%	3,200	12.8%	3,220	13.5%	3.0%	100.6%
	営業利益	99	—	80	—	26	—	△72.9%	32.5%
その他	売上高	2,341	9.4%	2,100	8.4%	1,930	8.1%	△17.5%	91.9%
	営業利益	△75	—	10	—	△55	—	—	—
調整額	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	54	—	50	—	57	—	6.3%	14.0%
合計	売上高	24,903	100.0%	25,000	100.0%	23,829	100.0%	△4.3%	95.3%
	営業利益	425	100.0%	640	100.0%	311	100.0%	△26.7%	48.5%

*1 売上高は、外部顧客に対する売上高となります。

*2 営業利益の構成比は、「インテリア健康事業」「その他」が損失のため記載しておりません。

*3 平成22年3月期第2四半期のセグメント実績は前年比較用の推計値であります。

連結貸借対照表

(百万円)

		平成22年 3月末	構成比	平成22年 9月末	構成比	増減額
資産の部	流動資産	32,669	54.8%	31,278	52.7%	△1,391
	現金及び預金	9,280	15.5%	8,356	14.0%	△923
	受取手形及び売掛金	9,156	15.3%	8,465	14.2%	△691
	有価証券	2,999	5.0%	3,998	6.7%	999
	棚卸資産	8,675	14.5%	8,317	14.0%	△357
	固定資産	26,918	45.1%	27,940	47.1%	1,021
	有形固定資産	16,379	27.4%	16,614	28.0%	234
	無形固定資産	902	1.5%	1,306	2.2%	404
	投資その他の資産	9,636	16.1%	10,019	16.9%	382
資産合計	59,602	100.0%	59,277	100.0%	△324	
負債の部	流動負債	17,173	28.8%	13,352	22.5%	△3,821
	支払手形及び買掛金	5,202	8.7%	3,716	6.2%	△1,486
	短期借入金 ※1	6,275	10.5%	3,125	5.2%	△3,150
	固定負債	4,977	8.3%	8,775	14.8%	3,797
	長期借入金 ※2	1,000	1.6%	4,550	7.6%	3,550
負債合計	22,150	37.1%	22,127	37.3%	△23	
純資産の部	株主資本	37,481	62.8%	37,322	62.9%	△159
	評価・換算差額等	△29	—	△171	—	△142
	純資産合計	37,451	62.8%	37,150	62.6%	△301
	負債及び純資産合計	59,602	100.0%	59,277	100.0%	△324

※1 一年内償還社債および一年内返済長期借入金を含む ※2 社債を含む

キャッシュ・フロー(CF)の状況

(百万円)

	営業活動によるCF	投資活動によるCF	財務活動によるCF	現金及び現金同等物換算差額	現金及び現金同等物増減額	現金及び現金同等物期末残高
平成22年3月期 第2四半期	2,731	△1,663	74	△2	1,140	11,282
平成23年3月期 第2四半期	2,638	△1,736	373	△5	1,269	12,300

①連結CFの状況

現金及び現金同等物は、期首に比べて12億6千9百万円増加。

②営業活動によるCFの状況

税金等調整前四半期純利益が2億6千4百万円。また、減価償却費16億3千5百万円、売上債権6億9千万円の減少、棚卸資産3億5千7百万円の減少、法人税の還付3億6千2百万円などにより、資金が増加。

③投資活動によるCFの状況

レンタル用賃貸資産、リース資産など有形固定資産取得のための支出18億1千4百万円、および、ソフトウェアなどの無形固定資産の取得5億2千9百万円、新規定期預金への預入支出6億6百万円などにより資金が減少。

④財務活動によるCFの状況

配当金の支払い額2億8千3百万円、短期借入金の返済31億5千万円、リース債務の返済5億8千7百万円、社債の償還による支出3億8千7百万円、長期借入金の返済1億1千2百万円などにより、資金が減少。社債の発行による収入31億1百万円、長期借入による収入9億円、セール&リースバックによる収入 8億9千3百万円により、資金が増加。

(百万円)

		平成22年3月期 通期実績	平成23年3月期 第2四半期実績	平成23年3月期 下期計画	平成23年3月期 通期計画
設 備 投 資 額	レンタル資産 リース資産	2,868	1,547	1,780	3,327
	工場生産設備	262	120	414	534
	メディカルサービス 事業の事業所	395	49	59	108
	ソフトウェア の取得	559	532	218	750
	その他	75	38	103	142
	合 計	4,159	2,286	2,574	4861
減価償却費		2,651	1,635	1,878	3,513

平成23年3月期通期 連結およびセグメント別の業績見通し

(百万円)

	平成22年3月期 通期実績	平成23年3月期 通期計画	前年同期 増減率
売上高	49,792	48,600	△2.3%
営業利益	720	970	34.6%
経常利益	644	800	24.0%
当期純利益	263	300	13.9%

メディカルサービス事業	売上高	20,525	21,600	5.2%
	営業利益	1,635	1,410	△13.7%
インテリア健康事業	売上高	18,354	16,500	△10.1%
	営業利益	△932	△620	—
法人施設事業	売上高	6,493	6,600	1.6%
	営業利益	166	110	△33.7%
その他	売上高	4,420	3,900	△11.7%
	営業利益	△258	△60	—
調整額	売上高	—	—	—
	営業利益	110	130	18.1%
合計	売上高	49,792	48,600	△2.3%
	営業利益	720	970	34.6%

* 平成22年3月期下期のセグメント実績は前年比較用の推定値であります。

各セグメントごとの通期の見通しと下期の取組み
1. メディカルサービス事業

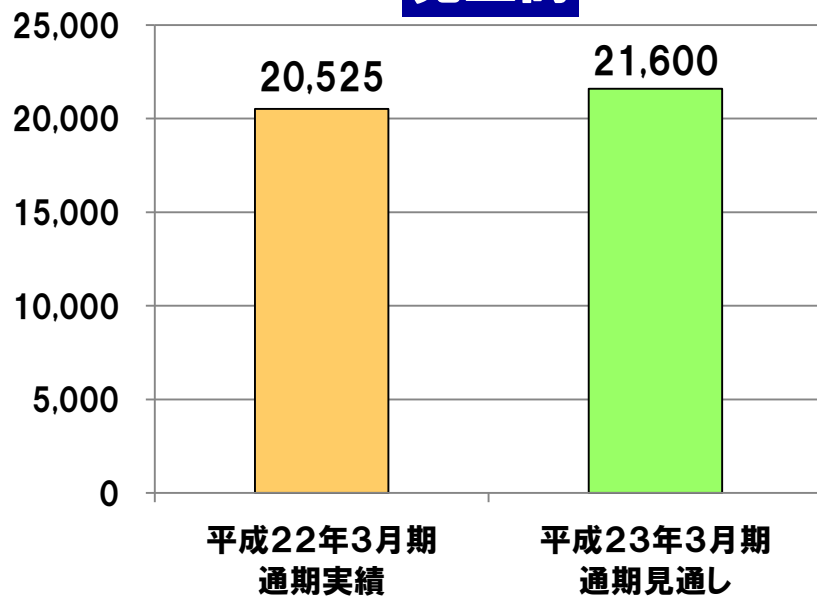
メディカルサービス事業の通期業績見通し

(百万円)

		平成22年3月期 通期実績	平成23年3月期 通期計画	前年同期 増減率
メディカルサービス事業	売上高	20,525	21,600	5.2%
	営業利益	1,635	1,410	△13.7%

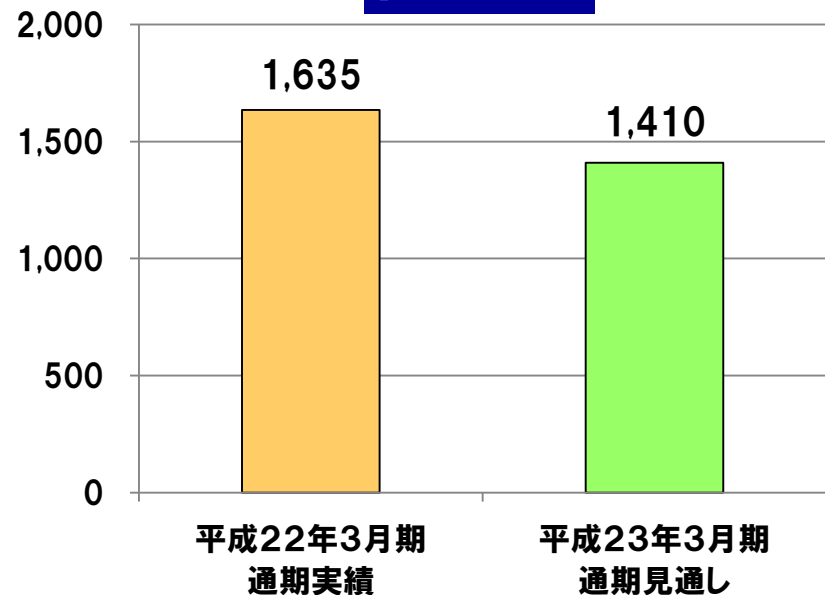
(百万円)

売上高



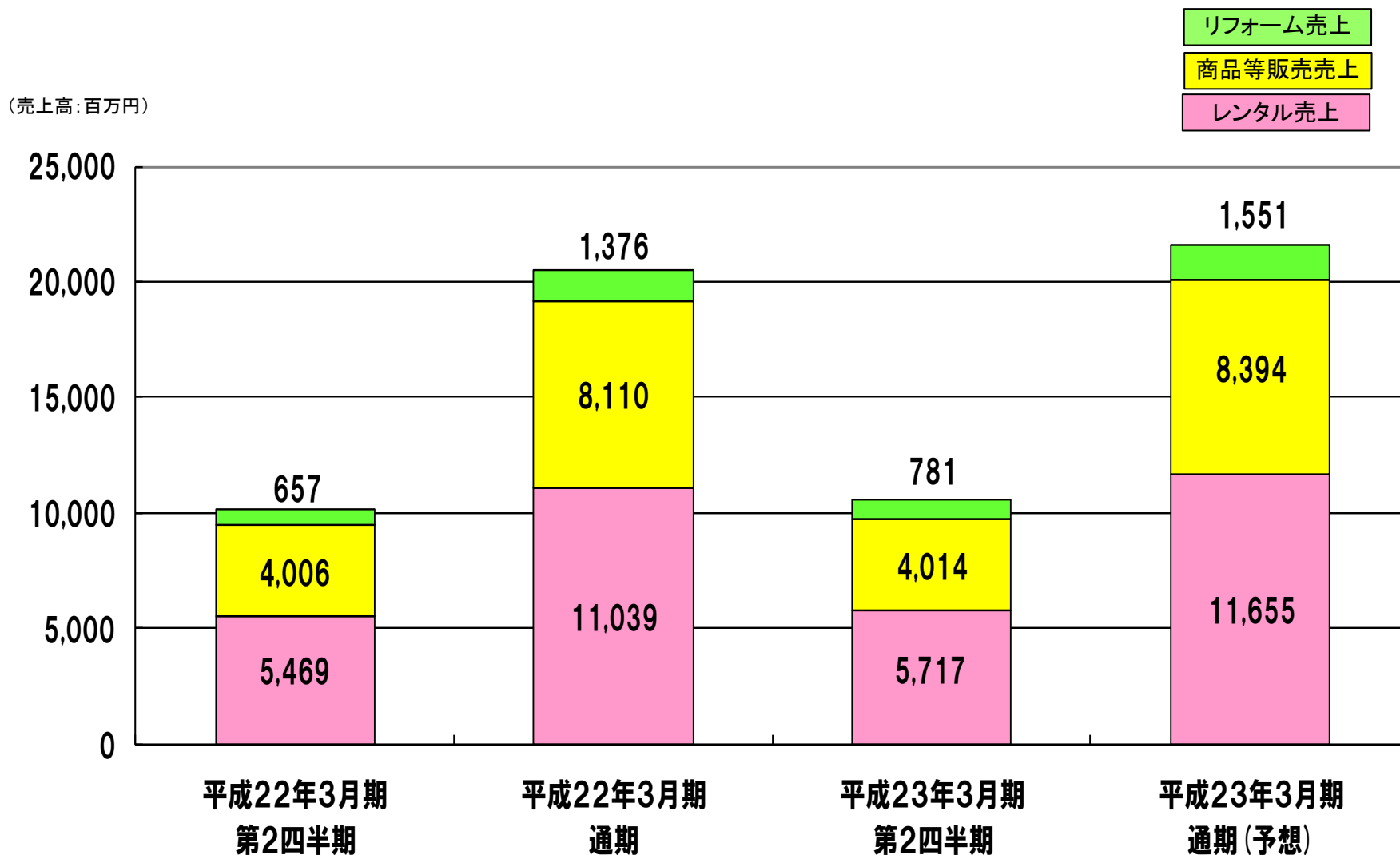
(百万円)

営業利益



* 平成22年3月期のセグメント実績は前年比較用の推計値であります。

メディカルサービス事業の売上構成別推移



* 平成22年3月期のセグメント実績は前年比較用の推計値であります。

メディカルサービス事業の下期の取組み

1. 営業力の強化

- ・ 新規増設営業所 下期増設4箇所計画（上期:6箇所増設）
- ・ インテリア健康事業からメディカルサービス事業にシフトした人員の戦力化（前期 7月以降、延べ44名）

補強した人員の早期戦力化とサービスの向上を図る

2. 新レンタル商品の積極的投入

- ・ 新JIS対応の電動介護用ベッドの更なる拡販
- ・ 新規自社開発商品の販促に注力し、豊富なアイテム数と質の高いサービスを駆使し、軽度者から重度者までの顧客獲得

3. 施設向け物件売上の拡大

- ・ インテリア事業部門から人員補強を図り、増加傾向にある医療機関や特別養護老人ホーム向けに電動ベッドの拡販を強化

各セグメントごとの通期の見通しと下期の取組み
2. インテリア健康事業

インテリア健康事業の通期業績見通しと下期の取組み

(百万円)

		平成22年 3月期 通期実績	平成23年 3月期 通期計画	前年同期 増減率
インテリア 健康事業	売上高	18,354	16,500	△10.1%
	営業損失	△932	△620	—

* 平成22年3月期のセグメント実績は前年比較用の推計値であります。

下期の取組み

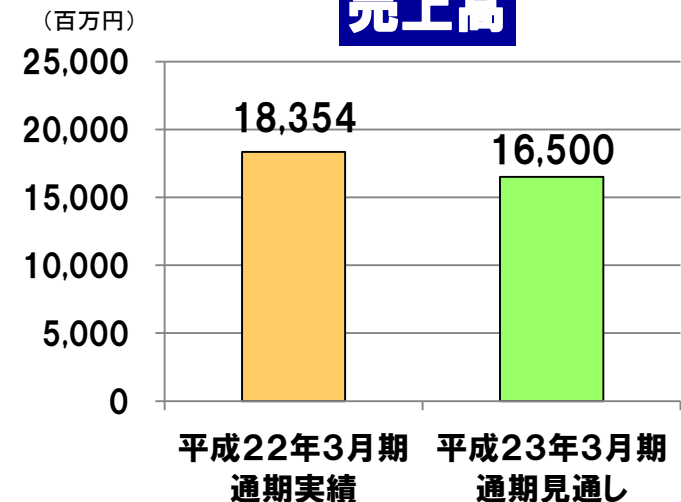
1. 売上確保策

- ・安全性の高い日本製を強くアピールし、当社独自の付加価値の高い商品の販促

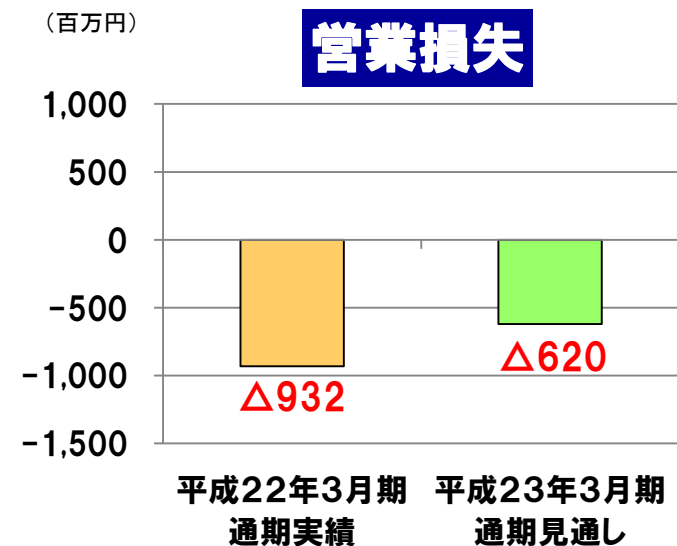
2. 損失解消策

- ・取引全般における選択と集中による大規模な構造改革
(西日本・四国・北陸エリアでメディカルサービス事業部門と統合した営業所を組織)
- ・非効率な物流・配送体制の改善

売上高



営業損失



各セグメントごとの通期の見通しと下期の取組み
3. 法人施設事業

法人施設事業の通期業績見通しと下期の取組み

(百万円)

		平22年 3月期 通期実績	平成23年 3月期 通期計画	前年同期 増減率
法人施設 事業	売上高	6,493	6,600	1.6%
	営業利益	166	110	△33.7%

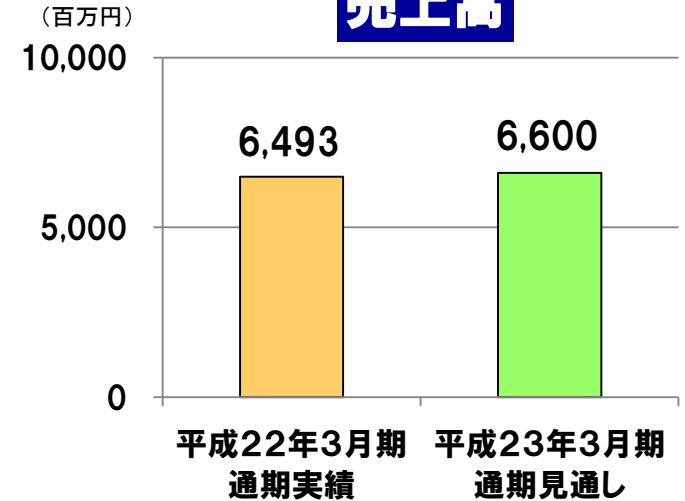
* 平成22年3月期のセグメント実績は前年比較用の推計値であります。

下期の取組み

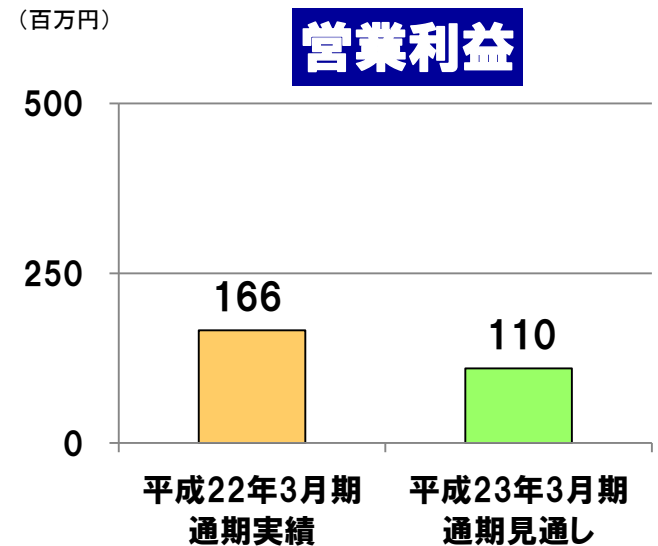
◆ 売上の拡大

- ・首都圏エリアの医療・福祉施設業界への電動ベッド等の拡販
- ・首都圏エリアの病院やホテルに対し、寝具等のリネンサプライ事業の拡販
- ・レンタル・商品販売・リユース販売・リネンサプライなど、様々な販売ノウハウを駆使

売上高



営業利益



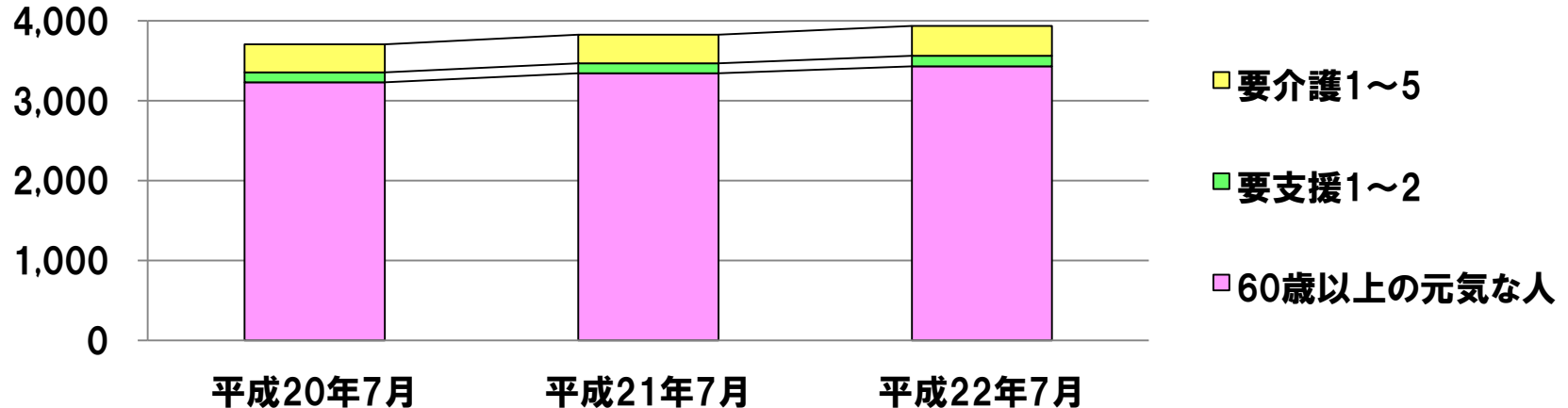
今後の主な取組みについて

顧客層	一般	60歳以上の 元気な人	介護保険認定者	
			要支援1~2	要介護1~5
商品・サービス	 <p>環境対応 スプリングマットレス</p>  <p>温度機能ベッドパッド</p>  <p>新電動リクライニングベッド</p>	 <p>革張りリフトアップチェア</p>  <p>電動アシスト三輪自転車</p>	 <p>悠悠いきいき倶楽部</p>	 <p>リフトアップチェア-400</p>  <p>介護軽減 背上げらくベッド</p>  <p>体位変換マットレス</p>
	<p>医療機関・福祉施設 向け商品</p>		 <p>多目的ベッド [FB-540 PS-01]</p>	 <p>施設向け 低価格電動ベッド</p>

「60歳以上の元気な方」と「介護保険認定者数」の推移

		平成20年 7月	前年比較 増減率	平成21年 7月	前年比較 増減率	平成22年 7月	前年比較 増減率
60歳以上の元気な人		3,231万人	3.5%	3,342万人	3.4%	3,432万人	2.6%
介護保険 認定者	要支援1～2	122万人	13.5%	126万人	3.2%	130万人	3.1%
	要介護1～5	351万人	1.7%	360万人	2.5%	375万人	4.1%
合 計 (総人口に占める割合)		3,704万人 (29.0%)	3.6%	3,828万人 (30.0%)	3.3%	3,937万人 (30.8%)	2.8%

(単位:万人)



※60歳以上の人口(総務省統計局:人口推計より)
介護保険認定者数(厚生労働省:介護給付費事態調査月報より)

要支援1～2向け
サービス

介護予防サービスに特化した デイサービス事業の拡大

所在地	時期	運営形態		特徴
		直営	FC	
東京都調布市	平成22年2月開設	●		1号店
名古屋市緑区	平成22年8月開設	●		イオンショッピングセンター内
大阪府枚方市	平成22年10月開設	●		デイサービス・介護ショップ併設
長野県塩尻市	平成22年11月開設		●	FC1号店
長野県長野市	平成23年1月開設予定	●		デイサービス・介護ショップ併設
(計画中)	平成23年3月頃の予定		●	FC2号店
(計画中)	平成23年4月頃の予定		●	FC3号店

目標：今後1年間で
20ヶ所程度の開設



介護保険
適用

60歳以上の元気
な人向け商品

《革張りリフトアップチェア》

2011年3月より展開予定

インテリア健康事業の
得意先で販売



- ・電動で「立ち上がり」と「座る」動作を楽に行えます。
- ・リクライニング機能で長時間の使用も快適
- ・移動用キャスターで手軽に移動が可能

要介護1～5向け
商品

《リフトアップチェア400》

2010年11月より展開

■販売価格 144,900円(税込)
レンタル価格 月額4,000円

介護保険
適用



《 介護軽減 背上げらくベッド 》

要介護1～5向け
商品



マットが伸びる



介護保険
適用

背上げ時の体のズレによる違和感と腹部への圧迫感を和らげる背上げらくベッド

専用マットレスを使い、リクライニング時にマットレスが上方へ伸びる

■販売価格 310,000円(非課税)～
レンタル価格 13,000円～
2010年11月末より展開を予定

《体位変換 エアーマットレス》

要介護1～5向け
商品

- ◇ 体位変換機能と床ずれ防止機能を合わせ持ったエアーマットレス
- ◇ 電気部品(エアポンプ、制御基板等)は、マットレス内に埋め込み一体構造



《特徴》

- ・自動プログラムにより、体圧分散、および、体位変換を自動的に行う
- ・ギャッジベッドにも対応します。
- ・体位保持モードにより介護者の負担を軽減

2011年2月より展開を予定

成長に向けた新たなサービスと商品

医療機関向け 商品

多目的機能を持ったベッド
一般病室から集中治療室まで対応
多目的ベッド「FB-540 PS-01」

腹部を圧迫しない内角保持機能・背上げ角度制限機能

チェアポジション



ハイロー機能機能

ハイロー 520~920mm



看護者の足にやさしい
ワンウェイトトータルロック

販売価格：オープン価格

(参考上代180万円、サイドレール・マットレスを含む)

◇ 政府の方針により、救急救命の充実化、
ベッドの確保が上げられています。
(多目的ベッドとして展開)

2010年11月末より受注生産予定

《施設向け低価格電動ベッド》

福祉施設向け
商品



- ◇ 福祉施設(有料老人ホーム)が求める要求を満たした商品
(3モーター・低床・低価格・安全性・デザイン性)
- ◇ JIS T 9205の要求するサイドレールの隙間寸法に適合

2010年11月末より展開予定

一般向け
商品

《温度機能 ベッドパッド》



- ◇ 冷暖の両方の機能が付いた、理想のベッドパッド
- ◇ ベッドパッドの温度調節が可能で、好みの床内温度で休むことが可能
- ◇ 水温は、冷暖どちらでもコントロールが可能
(8~48℃)

2011年2月より展開予定

一般向け
商品

《 低価格 新電動リクライニングベッド 》



2010年12月より展開予定

- ◇ 木製ヘッドボード、サイドレール、手すりとの組合せで、簡易介護ベッドとしても使用が可能な電動ベッド
- ◇ シングルサイズ
1モーター(背・脚連動)の型式限定で展開
- ◇ セミダブルサイズ
2モーターの展開は、2011年2月発売予定

一般向け
商品

《リコ・プラス (環境対応マットレス)》

- ・マットレス廃棄時に分別が容易に行えます
- ・分別された部材は資源の有効活用が可能です。
- ・エコマーク認証を取得しました。(環境配慮)
- ・グリーン購入法(2010改正)に対応できます。



RC-300



RC-500



RC-700

新製品

RC-900



2010年9月末エコマーク認証取得！
11月末より展開予定



■メーカー希望小売価格
42,000円(税込)～

1. 不要となったスプリングマットレスは、「**適正処理困難物**」
(他にタイヤ・テレビ・冷蔵庫)に指定されている。



自治体の中には、住民に対して、廃スプリングマットレスの回収を拒否したり、住民自身にスプリングユニットと生地、詰物に分別することを求めているところがある。

(例) 回収しない自治体: 千葉市、国分寺市、松山市、他
住民が分別を行う自治体: 浜松市、水戸市、藤枝市、他

2. 粗大ごみを回収処理している東京都のゴミ処理場では、**スプリングマットレス(特にポケットコイルスプリング)**のリサイクルするための分別に苦慮している。



家具店などに現状を認識してもらうために、「**東京都23区中防処理施設場**」見学ツアーを企画。

新ブランドコンセプト＝「人にやさしい」商品

- ・高齢者
- ・障害をお持ちの方
- ・人の助けが必要な方



「これがあって
良かった。」
「本当に助かった。」

ニーズに対応

「人にやさしい」
をコンセプトに、新しい
発想で開発する商品群

「新ブランド」
として集約
(ブランド名を社内公募)

ブランド名決定

リハテック
Reha tech

リハテック *Reha tech*

《 電動アシスト三輪自転車 ASU-3W01 》

- ・高齢者をターゲットに、「暮らしの脚」として。
- ・ペダルを踏む力が少なくて済み、足腰の弱い方でもラクに走行
- ・坂道や過疎の町で、「移動手段として」、「買い物手段として」、「通院手段として」。
- ・高齢者からケアマネージャー、都心での営業活動にも利用

■メーカー希望小売価格 198,000円(税込)
2010年11月末より展開を予定

安心、安全、扱いやすい、
高齢者のことを考えた
充実の仕様。



NEW

高齢の方でも乗りやすい!

電動アシスト三輪自転車

- 軽量
だから
取り回し楽い
- コンパクト
だから
ゆとりに入る
- 低重心
だから
高い安定感

3+
EPA
EPA

60歳以上の元気
な人向け商品

2010年8月16日 国家公安委員会より型式認定を取得

質 疑 応 答

(問合せ先)

総務室長 原田正裕 Email: ir@francebed-hd.co.jp
広報課長 佐藤知盛 同上

(将来見通しに関する注意事項)

本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。
また、要因はこれらに限定されるわけではありません。

- 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
- 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化
- 原価低減や設備投資を計画通り実施する弊社の能力
- 新製品を開発し市場へ投入する弊社の能力